

「地域における省エネ講座－セミナー及び個別相談会－」のご案内

このような取組の一貫として、苫小牧市内の中小企業の皆さまを対象に、「ゼロカーボン」に取り組むことによるメリットや先進事例などを紹介したく、「地域における省エネ講座－セミナー及び個別相談会－」を開催します。下記日程にて2回、同内容にて開催致しますので、是非ご参加ください。

開催日時

- ① 2024年7月19日(金) 14:30～16:00頃
- ② 2024年8月 9日(金) 14:30～16:00頃

開催場所

① ② とも

苫小牧経済センタービル6階大ホール（苫小牧市表町1丁目1-13）
オンライン希望者には視聴用URL送付

セミナー概要

① ② とも

(1) 『できることから始めよう 省エネ』

省エネコンサルさっぽろ 代表 齊藤 晶夫 様

中小企業が実際に省エネを推進するにあたって、エネルギー消費の「見える化」や節約や省資源といった切り口だけでなく、企業にとっての一番の「儲け頭」となっている事業を如何に維持し、伸ばしていくために、どう省エネを活用していくのかといった側面からの有益なお話もいただきます。

(2) 支援メニュー紹介

個別相談概要

① ② とも

- (1) Zeroboardによる温室効果ガス排出量評価の進め方（同社により5分程度プレゼン）
- (2) 北海道電力による省エネ診断の進め方（同社により5分程度プレゼン）
- (3) 各社個別相談会（事前申込優先）

申込方法

- 開催日1週間前までに下記にて

- ・ グーグルフォーム: <https://forms.gle/nbyzhfCgMGki4Wwj7>
- ・ E-mail: tomakomai-zerocarbon@doginsoken.jp

- ・ メールの場合は、セミナー参加希望日及び参加方法（現地参加もしくはオンライン参加）、個別相談会参加希望日及び参加方法（現地参加もしくはオンライン参加）、企業名、業種、参加者名（部署名、役職名、氏名）、メールアドレス、電話番号、FAX、住所を記載願います。



問い合わせ事務局

- 株式会社道銀地域総合研究所（担当：柿田、桂）

住所：札幌市中央区南1条西4丁目16番地2
E-mail: tomakomai-zerocarbon@doginsoken.jp
TEL: 011-233-3561 FAX: 011-207-5220

※道銀地域総合研究所は、苫小牧市より「苫小牧市ゼロカーボン支援コンサルティング事業」の委託を受け、当セミナー及び個別相談会の運営を担当しています。

定員
100名
参加費
無料



令和
6年度

苫小牧市ゼロカーボン支援 コンサルティング事業

なぜ今「ゼロカーボン」なのか？

- ゼロカーボンとは、CO₂などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることで、我が国では2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。
- 経済活動や日常生活の中で温室効果ガスを全く排出しないのは現時点では不可能であることから、温室効果ガスの排出量から植物によって吸収される量を差し引いて「実質ゼロ」を目指しています。
- このため、再生可能エネルギーの導入はもちろんのこと、「省エネ法」では企業に対して以下の措置を講じることを求めています。

温室効果ガス排出量・吸収量(単位:億t-CO ₂)	2013 排出実績	2030 排出量	削減率	従来目標
エネルギー起源CO ₂	14.08	7.60	-46%	-26%
産業	12.35	6.77	-45%	-25%
部門別				
業務その他	4.63	2.89	-38%	-7%
家庭	2.38	1.16	-51%	-40%
運輸	2.08	0.70	-66%	-39%
エネルギー転換	2.24	1.46	-35%	-27%
非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O	1.06	0.56	-47%	-27%
HFC等4ガス(フロン類)	1.34	1.15	-14%	-8%
吸収源	0.39	0.22	-44%	-25%
二国間クレジット制度(JCM)	-	-0.48	-	(-0.37億t-CO ₂)

資料：地球温暖化対策計画（令和3年10月22日閣議決定）

- すべてのエネルギーの使用の合理化
- 非化石エネルギーへの転換
- 電気需要の最適化

苫小牧市における取組

- 苫小牧市においても、異常気象による局地的豪雨によって、土砂災害や道路の冠水などの被害が発生しており、地球温暖化による気候変動問題は生活に大きな影響を与えています。
- このため、2050年までにCO₂の実質排出量削減を目指して、2021年に「苫小牧市ゼロカーボンシティ宣言」、2023年に「苫小牧市第4次環境基本計画～第1期ゼロカーボン推進計画～」などを策定しています。



資料：「第4期 苫小牧市役所エコオフィスプラン(令和5年4月)」



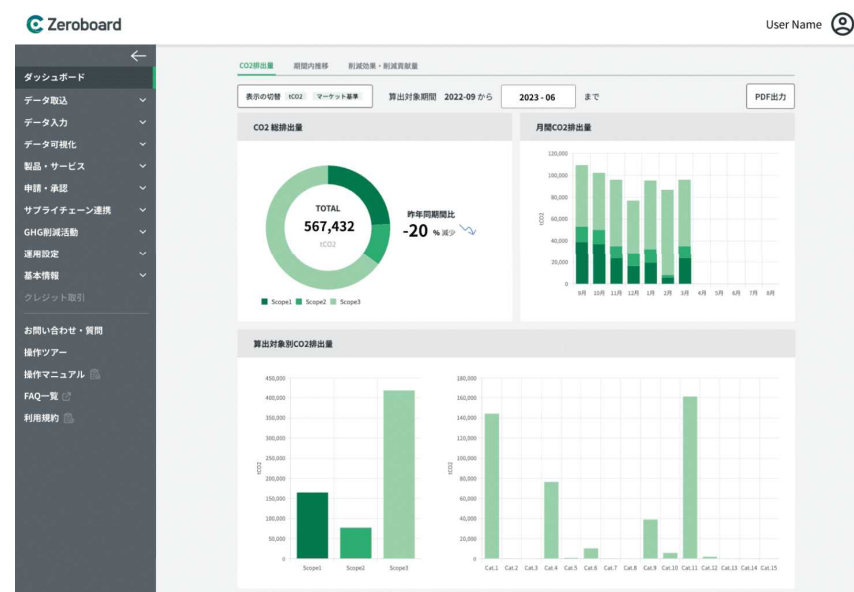
苫小牧市のゼロカーボン
関連取組について
詳しくはこちら

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shizen/kankyohozen/zerocarbon/>

- 今年度の「ゼロカーボン支援コンサルティング事業」では、ゼロカーボンに関する苫小牧市内企業向けの
① セミナー及び個別相談会、② 温室効果ガス排出量評価、
③ 省エネ診断を実施します。

温室効果ガス排出量評価とは？

- 本事業では、希望する苫小牧市内の企業・事業所20社に対して、活動量の入力またはデータ連携の設定をするだけで温室効果ガス排出量の算定・可視化・削減管理ができるクラウドサービス「Zeroboard」を用いて「見える化」します。



20社
無料
実施

POINT 1

活動量をデータ連携・入力するだけで温室効果ガス排出量を算定・可視化

- 活動量（調達量や使用量）を入力あるいはデータ連携するだけで、サプライチェーンや製品・サービスごとの排出量まで算定可能
- 顧客フィードバックに基づいた高い操作性のインターフェースにより、専門的な知識がなくても使用可能

POINT 2

ChatGPT APIによるAIチャットボット「Dr.Zero」が算定の質問に回答

- 算定作業を進める中で出てくる質問に、50種を超える国内外の専門資料を学習したDr.Zeroが数秒で自動回答、中断することなく作業を進めることが可能
- FAQやオンラインマニュアルもご用意。必要に応じてメールによる機能や操作方法のサポート

POINT 3

業界随一の導入企業数(2600社以上)

- グループ企業含めると6,000社以上の業界トップランナーでご利用
- GHGプロトコルに基づく国際的な開示形式に加え、省エネ法・温対法など既存環境法令への報告形式での出力も可能

- 苫小牧市内の企業・事業所20社に今年度中無償提供
- 操作等に関するオンラインでの個別指導も適宜実施
- 希望する企業・事業所は次のステップ「省エネ診断」へ

省エネ診断とは？

- 本事業では、温室効果ガス排出量評価に加えて、希望する苫小牧市内の企業・事業所5社に対して、北海道電力による「省エネ診断」を実施します。

診断内容

照明・空調など建築設備のほか、製造業に多いコンプレッサ、ポンプ・ファンなどのムダ、効率の良くない使用をチェック

- ✓ **施設概要、主要設備、エネルギー管理体制の確認に関する情報収集**
月別・種類別エネルギー消費量、建物諸元・図面、設備諸元・図面、設備点検記録、エネルギー管理体制等のヒアリング実施
- ✓ **エネルギー消費量状況の確認**
上記項目を整理し、エネルギー消費量、用途別割合等整理
- ✓ **省エネルギー診断調査**
現地調査を行い、運用で改善できる事項と設備更新を伴う事項を整理して提示

報告

5社それぞれに報告書を作成し、オンラインで報告

省エネ診断のメリット

5社
無料
実施

費用のかからない
省エネ改善

- **費用を掛けずに削減できるネタ**が得られます

脱炭素化への
アドバイス

- 省エネに取り組むことで **自然と脱炭素経営**

補助金などの
利用にプラス

- 省エネ診断によって設備更新の有効性が示されることから、「省エネ設備導入補助金」加算評価の対象へ
- 「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」の申請に必要なエネルギー起源CO₂排出量の把握が可能